

### 3学期スタート

校長 中尾 善登

14日間の冬休みが終わり、3学期がスタートしました。そして、先週は県中学校総体スキー大会が氷ノ山にて開催され、本校からも7、8年生7名のスキー部員が参加し、全国大会出場権を獲得しました。成人の日を含む3連休も終わり、普段の日常生活が戻ってきました。

9年生は、すでに入試モードに入っており、私立高校の入学試験が始まっています。これからの約2ヶ月間が受験勉強の正念場、進路決定の重要な期間です。皆が笑顔で卒業できるよう祈ると共に、精一杯支援していきます。

さて、新型コロナウイルス感染症拡大の懸念は、鳥取県でもあっという間に160例を超えるほどの新規感染者が出て、本当に心配な状況となっています。学校では、他人事ではないこととして子供達にも十分指導し、生活の中で実際の場に即した指導を続けています。ご家庭でもこれまでに配付しました通知や保健便り、注意喚起を促すチラシなどを参考にいただき生活してください。また、感染状況によっては、学校行事の変更や中止、延期も迫られてくることと思っています。なるべく早く決めることを心がけているのですが、状況によっては直前の判断になることも考えられます。その節はご理解、ご協力いただきたいと思います。

3学期となり、校舎には、子供達の素敵な笑顔が戻ってきました。校庭には雪も積もり、雪遊びを楽しんでいる子供達がたくさんいます。昨年、雪が少なくほとんど遊べなかったのですが、今年は存分に遊べます。スキー教室も、1年生から8年生まで1月27日（中期と8年）と、2月10日（前期）に分けて実施できそうです。ただ、降りすぎを心配する日も何日かありそうです。

また、3学期は短い学期なのですが、学習面では、各学年のまとめとなる大切な3学期です。3月末には、9年生は、輝かしい「15の春」を迎えること、8年生以下の子供達も、全員が、「なりたい自分」の姿となることを目指し、がんばっていきます。毎年、風邪やインフルエンザ等で健康面では心配な3学期ですが、十分に気をつけ、充実した3学期となるようにがんばっていきます。

今年も若桜学園をよろしくお願いいたします。



# 地域の皆様 ありがとうございました

毎年、JA いなばグループトスク株式会社が「東部地区小中学校等に図書を贈ろうキャンペーン」を実施されています。これは、トスク各店で9月にお買い物をしたレシートを、図書カードを送りたい学校を決めて応募いただく取り組みです。

このキャンペーンで、若桜学園は、東部地区の小中学校等の中でもっとも多くの図書カードをいただくことになったということで、12月2日(水)に若桜学園で贈呈式が行われました。贈呈式では、小学校と中学校の図書委員長(伊原陸さんと木下未唯さん)が代表で図書カードを受け取りました。

(新日本海新聞 12月3日より)

いただいた図書カードは、応募されたレシートの合計金額の1%ということで、若桜学園には、25,500円分の図書カードをいただきました。東部地区には全部で76校の小中学校等があるのですが、その中で若桜学園が1番ということは、それだけ多くの皆様が若桜学園を応援してくださったということになります。しかも、これで2年連続となりますので、本当にありがたいことです。

いただいた図書カードは、若桜学園の子供たちのために使わせていただきます。地域の皆様、本当にありがとうございました。

図書委員長の児童と生徒に図書カードを手渡す小谷社長(右)と若桜町浅井の若桜学園



JA鳥取いなばグループのトスクは2日、「東部地区小中学校等に図書を贈ろうキャンペーン」の一環で、若桜町浅井の若桜学園に図

県東部の76校に  
図書カード寄贈  
トスク

書カードを贈った。学校図書充実と青少年の育成を目的に毎年実施。9月の1カ月間、トスク11店舗のレシート裏に希望学校名を書いて応募すると、合計金額1%相当の図書カードが各学校に贈られる。今年は小中学校や特別支援学校など76校に計約24万8千円分を寄贈した。同校であった贈呈式で、小谷寛社長は「地域の皆さんに感謝を込めて、たくさんの本を買って読んでもらいたい」と話し、2万5500円分の図書カードを贈った。8年(中学2年)で図書委員長の木下未唯さん(14)は「図書室にいろいろな種類の本がそろったうれしい」と喜んだ。(山根由梨)

## アンサンブルコンテスト



12月12日(土)に、米子公会堂で第43回全日本アンサンブルコンテスト鳥取県大会が開催されました。中学生の部には全部で54

団体が出場し、若桜学園吹奏楽部は

みごとに金賞(全16校 東部地区からは4校)を受賞しました。ソフトテニス男子の個人戦東部地区第2位、駅伝部女子の2年連続県大会出場に続き、少人数の学校でもやればできることを文化活動でも示してくれました。

## 科学研究発表

夏休みの自由研究を、今年度から“探究”と変え、テーマを絞って深く研究することにしました。その成果が現れ、たくさんの入賞者が出ました。

### 鳥取県科学研究

優秀賞 9年 山根永嗣 「カメムシの屋内侵入を減少させる研究～身近な植物の成分を用いて～」

### 鳥取県中学校自然科学研究発表会

優秀賞 7年 藤原遥香 「若桜から千代川の水質調査～測定値からわかったこと～」

### 東部地区中学校自然科学研究発表会

東部教育局長賞

9年 山根永嗣 「カメムシの屋内侵入を減少させる研究～身近な植物の成分を用いて～」

9年 熊田陽斗 「若桜町の放射線の調査～簡易測定器によるガンマ線の測定～」

### 八頭郡中学校科学研究発表会

優秀賞 8年 山本理捺 「自然の土は生きている～呼吸量とヒマワリの成長～」

7年 藤原遥香 「若桜から千代川の水質調査～測定値からわかったこと～」

優良賞 9年 小林愛実 「電子レンジの仕組みから～分子の振動で温める～」

9年 吉田千紗姫 「植物による汚染物質固定実験～海洋プラスチック問題の解決を目指して～」

8年 田井美知 「若桜の大気汚染状況の調査～マツの気孔の汚れの割合と比べる～」